

学校教育目標

- ・意欲をもち 自主的に学習する生徒
- ・人と郷土を愛し 進んで奉仕する生徒
- ・健康で はつらつとした生徒



<更生保護女性会の方と一緒に>



《球根の植え付け、大切に育てよう！》

12月5日(月)の専門委員会の時間に更生保護女性会の方に来ていただき、チューリップの球根を植えました。「更生保護女性会」の役割を説明していただいた後、球根の植え方を教えてもらい、班ごとにプランターに植えました。4月頃に色とりどりのチューリップが咲くことを楽しみに大切に育てます。

<植え付けの様子>



《幼稚園体験実習、幼児と触れ合おう！》

12月1日(木)~12日(月)に第3学年の家庭科の授業において、幼稚園体験実習を認定こども園愛泉幼稚園で行いました。3年ぶりの実施となりました。生徒達は、授業で作成したおもちゃを持参して年少、年中、年長の各クラスに3、4人程度に分かれて活動しました。最初、生徒達は緊張していた様子でしたが、幼児達のあどけない笑顔に和まされ、おもちゃの説明をしたり、一緒に遊んだりして貴重な体験をすることができました。最後は、園庭で一緒に遊び、さらに仲良くなる事ができました。この体験を通して、保育の意義や幼児の支援について、学ぶ事ができたと思います。幼稚園関係者の皆様には、ご協力いただき大変感謝しております。



<3年1組>



<3年2組>



<3年3組>



<3年4組>



<3年5組>

《人権週間、人権について考えよう！》

12月4日(日)~10日(土)は「第74回人権週間」でした。本校では、12月5日(月)~9日(金)に人権週間の作文発表を昼の放送に行いました。社会には、まだ様々な人権問題が依然として存在しています。作文発表では、人権問題を自分の問題として捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて発表していました。今後も生徒一人ひとりが様々な人権問題を、「誰か」の問題ではなく、自分の問題として捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深められるよう支援して参ります。保護者の皆様もご支援よろしくお願いたします。



クラス	氏名	題名	※記載は発表順 (敬称略)
2年5組	遠藤志峰	男女平等な社会を目指して	
1年1組	柿沼希乃果	車椅子の経験を生かして	
2年3組	片浦莉緒	好きな物を選ぶ	
1年4組	垣内愛生	今私達にできること	
2年4組	阿部文香	コロナ渦における子どもの権利について	

《給食週間、給食に感謝して食文化を学ぼう！》

1月24日(火)~30日(月)は「全国学校給食週間」でした。国分寺中学校では、この給食週間に給食について、標語、ポスター、作文を作成してもらい優秀な作品を表彰しました。また、この期間、国分寺学校給食センターには、日本各地(福井県、千葉県、兵庫県、山口県、高知県)の郷土料理を出していただきました。初めて食べる料理もあり、楽しく、美味しくいただきました。給食の時間には作文発表を行いました。そして、27日(金)に国分寺学校給食センターの宍戸恵美栄養教諭から、食べることの大切さ、食べ物や給食に関わる人達への感謝について話をいただきました。これからは生徒達が給食に対して感謝を忘れず、しっかりと食べて心身を成長させていくよう支援して参ります。

作文発表、ポスター・標語の優秀賞は次の通りです。

(敬称略)



<標語・ポスターの掲示>



<作文発表>

○作文発表

クラス	氏名	題名	クラス	氏名	題名
2年1組	北條奈美	命の尊さを考えて	1年2組	戸野塚さくら	笑顔になれる給食
2年3組	稲葉康太	給食が食べられる幸せ	1年4組	大森百華	私達にできること

○ポスターの部 優秀賞

1年1組小貫涼樺、1年2組芦沢汐織、1年4組山田未衣、2年4組竹内沙那、2年5組三柴結香

○標語の部 優秀賞

1年1組岩崎美波、1年2組大島千空、1年3組江田琴音、1年4組黒川結愛
 2年1組志賀琉惺、2年2組神戸雲百、2年3組瀧澤茉悠、2年4組福田彩那、2年5組稲葉登柊
 3年1組中澤崇哉、3年2組池田優空、3年3組手塚俊之介、3年4組古澤美咲、3年5組古川咲那

《立志式、生き方を考えよう！》

1月30日(月)に「令和4年度下野市立国分寺中学校立志式」を実施しました。

最初に学校長式辞と県知事メッセージ代読を行いました。また、市長からいただいた「立志式を迎えた皆さんへ」というメッセージは、パンフレットに掲載し各自に読んでもらいました。次に実行委員長の山崎世羅さんから、下記にあるような力強いあいさつがありました。そして、田辺紬さんが「過去の自分と未来の自分」という題名で立志作文を代表で発表しました。「誓いの言葉」では、一人ひとりが自分の決意や思いをしっかりと発表することができました。最後の「式歌合唱」は、指揮者が米内悠人さん、伴奏が増山美花さんで「次の空へ」を歌いました。一人ひとりの気持ちがこもった素晴らしい合唱になりました。立志式後に近藤瑠星さんが参加していただいた保護者の皆さんへ感謝の言葉を述べました。

保護者の皆様には、立志式の参観にあたり、検温、消毒、人数制限等の感染症対策にご協力いただきありがとうございました。また、2月10日(金)11日(土)の立志記念スキー宿泊学習にむけての準備等でもご協力よろしくお願いたします。式歌の「次の空へ」には「生きていく素晴らしさを少し分かり始めた～『ありがとう』を抱きしめて歩こう次の空へ」という歌詞があります。生徒達は、この歌にあるように感謝の気持ちをもって、自分の進むべき道に向かって努力をしていくと思います。今後も保護者や地域の皆様には、生徒達を見守り、ご支援いただければと思います。



<実行委員長挨拶>



<式歌合唱>

『学校長式辞』の抜粋

2年生の皆さん、立志式おめでとうございます。……さて、立志式にあたり、3点、お話しします。

1つ目は「無限の可能性と努力」についてです。

「新しいことを成し遂げられる人は、自分の可能性を信じるのできる人です。現在の能力で「できる、できない」を判断してしまえば、新しいことや困難なことなどできるはずはありません。人間の能力は、努力し続けることによって無限に広がるのです」。これは、ゼロからスタートした京セラという会社を世界のトップメーカーにした稲森和夫さんの言葉です。…常に自分自身のもつ無限の可能性を信じ、勇気をもって挑戦するという姿勢が大切です。これからも夢や目標に向かって努力を重ねていってください。……

…今日の立志式が「これからの自分」を考えるよいきっかけとなり、スローガンの通り、夢と希望の羽を背に未来へ羽ばたくことを祈念して立志式の式辞といたします。

『実行委員長あいさつ(立志式を迎えて)』の抜粋 【山崎世羅さん】

私は、自分たちがこの場所で立志式を迎えられたことは「奇跡の連続」だと思います。新型コロナウイルス感染症により、生活様式が変わり、様々な事に制限を受けてきました。そんな自分たちがこの瞬間を迎えられたことは、決して当たり前ではないからです。……

…私は、自信をもってしているとは言えず、まだまだ未熟です。だからこそ、「稚心を去り、気を振るい、志を立て、学に勉め、交友を選ぶこと」が大切なのです。……

…しかし、志を立てた今こそ、感謝の気持ちをもって接しましょう。それが、素直な気持ちへとつながり、この先直面する辛いこと、苦しいことを乗り越える力になるのだと信じています。最後にここにいる全ての生徒がどのような困難にも負けず、大きく成長することを願って実行委員長のあいさつとさせていただきます。

『代表者の立志作文』の抜粋 【「過去の自分と未来の自分」：田辺紬さん】

私は、将来医療の仕事に就きたい。感謝の気持ちを常にもち、人の役に立ち笑顔にしたい。夢を叶えるため、自分の近くにいる人から自分ができることを探し行動していきたい。……

…その一つとして、自分に厳しく、人に優しくすることだ。自分には学業や部活動などに全力で取り組まなければならない。だから自分に甘くせず、……

…私はこれまでうまくいったと思ったことが少なかったのに理由があることが分かった。それは物事に対する強い気持ちがなかったということ。自分がやりたいと思ったのなら諦めずに最後までやるべきだった。これからの私は後悔しないよう、強い気持ちをもって自分の目の前にあることを成功させていきたい。

学校だより「いしずえ」を学校のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

QRコードをカメラで読み込んでご覧ください。

URL http://www.school.shimotsuke.ed.jp/j_school/kokutyu/index.html

